

分野	23	地域福祉・生活の安定	通番 48
施策	232	生活の安定の確保	
5年後の目標		生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	福祉なんでも相談事業		会計	款	項	4,406円	社会福祉課
			一般	3	1		
事業の概要							
福祉や生活上の問題を気軽に相談できる福祉なんでも相談室の機能の充実を図り、問題の整理と必要な支援、制度利用のための総合調整・案内を円滑・適切に実施し、市民の総合的な相談に対応します。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	福祉に関する相談件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	780	810	840	870	900
	878(平成26年度)	実績	842	788	983		
<ul style="list-style-type: none"> 福祉の総合相談窓口として、福祉専門職の相談員3名を配置し、高齢者や障がい者の福祉サービスに関する相談、子育てに関する相談、生活困窮や就労に関する相談、どこに相談すればよいかわからない暮らしのなかの困りごとなどに積極的に対応しました。 相談内容に応じて適切な担当部署や機関につなぎ、制度利用の調整に努めました。 平成31年2月15日号の広報長岡京において、福祉に関する相談のワンストップ窓口である「福祉なんでも相談室」の機能について周知しました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙で相談窓口の紹介記事を掲載した効果もあり、平成30年度相談のべ件数は983件で前年度より100件程度増加しました。相談実件数は380件と前年を36件上回る件数となり、身近な福祉の総合相談窓口として「福祉なんでも相談室」が定着してきています。
	課題等			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活困窮者対策庁内ネットワーク会議」や「自殺対策庁内ネットワーク会議」を通して、福祉なんでも相談室に相談につながる仕組みが庁内関係部署には浸透しつつあります。庁内部署と比較して、庁外関係機関からの相談件数は少ないため、支援が必要な人に必要な支援が届くように連携の強化を一層図る必要があります。

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民にとって身近な支援者・支援機関である民生児童委員や地域包括支援センターなどに「福祉なんでも相談室」を引き続き周知し、相談や支援に早期につながるよう活用を促します。 ・ 生活困窮者自立支援などの関連施策と連動しながら複雑化、多様化する市民の福祉に関する悩みや相談に対し、総合的な相談窓口としての役割を發揮していきます。 ・ 庁外機関との連携を強化するために、相談員が機関に出向き、福祉なんでも相談室の役割について説明していきます。

分野	23	地域福祉・生活の安定	通番 49
施策	232	生活の安定の確保	
5年後の目標		生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市営住宅の計画修繕事業		会計	款	項	目	73,796,400	住宅営繕課
			一般	8	5	1		
事業の概要								
長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理及び耐久性の向上や高齢者に対応した住宅改修を実施します。 民間賃貸住宅入居者への家賃補助制度の恒久化や空き家の利活用等について検討します。								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づいた改修の実施率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	44.4(平成26年度)	目標	66.6	77.7	88.8	100.0	※平成31年度策定の次期長寿命化計画に基づく指標設定
		実績	66.6	77.7	88.8		
<ul style="list-style-type: none"> 市営野添住宅D棟の外壁、共用部、給水関係等の改修を行いました。同時に浴室の改修、手すりの設置、玄関ドアの改修等の室内の改修を、D棟の全室9戸で行いました。 市営今里住宅の改修工事の設計を行いました。 中開田住宅について、庁内の調整会議の場において情報共有を行い、事業の展望や内容の検証、今後のスケジュール等について検討を進めました。 					浴室改修後		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 市営野添住宅D棟の改修工事を行い計画どおり完工しました。 市営今里住宅の改修工事設計を行い計画通り設計を完成しました。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 長岡京市営住宅等長寿命化計画(計画期間令和2年度まで)の中に、令和元~2年度の事業として中開田住宅の建替えが含まれています。都市計画道路区域内にあるため、現地建替えおよび非現地建て替えを含め詳細な検討が必要ですが、市内での土地確保や財政状況等から計画通りに進捗しておらず、計画の終期へ向けて具体的な方針を決めていく必要があります。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき、計画年度に該当する今里住宅については、より安心安全な住宅を提供できるように、計画に沿って事業を実施します。 中開田住宅については、京都府及び関係部局と連携し、建替えの実施の可否について検討するとともに、次期長寿命化計画の方向性を含めた判断の中で、事業の実施について検討します。